【教科名】工業英語 Technical English　　《学修単位科目》

学年	学科	単位数	期間	開設週数	学校授業時間		自学自習時間		総時間
					時間/週	総時間	時間/週	総時間	
4	物質化学工学科	（必修）1	後期	15	1	15	1	15	30

【担当教員】竹原　健司　　【教員室】7 号館 2 階　　【TEL】7241　　【e-mail】takehara
物質化学工学科教員・中村　裕之　　各教員室

【授業目的と概要】
卒業研究を指導する教員の研究室に学生を配属し、各教員の指導の下に工業英語の輪講を小人数で行うことにより、物質化学工学に関する英語の語彙、文例を学修させる。

【授業の進め方及び履修上の注意】
小人数の輪講形式を取るので、授業の予習は必ず行うこと。英文を音読する場合は発音を正確に行い、英文和訳をする場合は、文章の意味・内容も理解すること。

【自学自習の指導について】
授業終了後に課題を与え、次週の授業を円滑に進められるようにする。

授　業　項　目	内　　容	時間
【後期】		
（畑中千秋）	"BIOCHEMICAL ENGINEERING FUNDAMENTALS", James E.Bailey,McGraw-Hill Book Co., Chapter 1~の英文和訳、基本的文法の説明	15
（山田憲二）	"Plasma Surface Modification and Plasma Polymerization", N. Inagaki, Technomic Publishing Co., Inc.(Basel)の Reading と英文和訳	
（松嶋茂憲・小畑賢次）	「Basic Technical English」、加澤恒雄、成美堂による英文和訳 「アクティブ科学英語（多田旭男他、三共出版）」及び「英語で書く 科学・技術論文（谷口滋次他、東京化学同人）」による英文和訳と英作文	
（川原浩治・井上祐一）	細胞の分子生物学に関する専門書の英文和訳	
（中村裕之）	外国の大学で使用されている「化学」の教科書中で、卒業研究テーマと関連の深い章を訳し、解説する。（英文和訳） 「国際会議参加要請 E メール」（英文）の和訳を行い、これに対する返信を英語で書く。（英文和訳、英作文）　など	
（山根大和）	「化学英語の手引き」、大澤善次郎、裳華房及び「化学英語 101」、國安　均、化学同人による化学英文の書き方と発音練習及び和訳	
（竹原健司）	有機化学の英文テキストの英文和訳と文法説明	
（後藤宗治）	卒業研究に関係する最近の英語論文の和訳と解説	
（前田良輔）	ブリティッシュコロンビア大学の化学実験指針書のリーディングと英文和訳	
（水野康平）	「生物工学英語入門」、大倉一郎他、講談社	
（園田達彦）	"Biochemistry and Molecular Biology", W. H. Elliott & D. C. Elliott, Oxford の Reading と英文和訳	
（山本和弥）	マイクロ波合成に関する総説の Reading と英文和訳	
定期試験		

【達成目標】
・各教員が指定する「工業英語」教科書の内容を的確に理解することができる

【教科書】
各指導教員の指定するテキスト及び論文
【参考書】
各教員に相談のこと

JABEE 教育目標	(B)①,　(D)①,　(E)③,　(F)②
準学士課程目標	(B)①,　(D)②,　(E)③,　(F)②

成績評価

【評価基準】
英文の音読、翻訳、内容の説明などを課すことにより、英語能力を判断する。
【評価方法】
毎授業課題（英文和訳等）80%、試験 20%

【オフィスアワー】
各指導教員が指定する時間帯